

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【公表番号】特表2017-512417(P2017-512417A)

【公表日】平成29年5月18日 (2017.5.18)

【年通号数】公開・登録公報2017-018

【出願番号】特願2016-553807(P2016-553807)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/14 (2009.01)

H 0 4 L 27/26 (2006.01)

H 0 4 W 72/04 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/14

H 0 4 L 27/26 1 1 3

H 0 4 W 72/04 1 3 2

【手続補正書】

【提出日】平成30年1月31日 (2018.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

— 1 つ以上のプロセッサと；

前記 1 つ以上のプロセッサによって実行可能なコンピュータ実行可能命令であって、
領域内の保護帯域についての識別子と、前記領域内のある保護帯域に隣接するライセンス帯域内にサービス展開が存在するかどうかに関する指示とを受け取るステップと、
無線データ伝送のために保護帯域を利用するステップと、

前記ライセンス帯域内で信号アクティビティが検出された場合に、前記無線データ伝送のための前記保護帯域の利用が調整されるように、前記ライセンス帯域内にサービス展開が存在するかどうかに基づいて、前記保護帯域に隣接する前記ライセンス帯域内の信号アクティビティをモニタすべきかどうかを判断するステップと、

を含む動作を実行するコンピュータ実行可能命令を格納する 1 つ以上のコンピュータ読取可能記録媒体と；

を備える、システム。

【請求項 2】

前記動作は更に、

前記ライセンス帯域内にサービス展開が存在すると判断したことに応答して、前記ライセンス帯域内の信号アクティビティをモニタするステップと、

前記ライセンス帯域内で信号アクティビティが検出されたことに応答して、前記ライセンス帯域内の前記信号アクティビティとの干渉を避けるように、前記保護帯域の利用を調整するステップと、

を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記調整するステップは、前記ライセンス帯域から離れるよう、前記保護帯域で伝送されている信号の中心周波数をシフトするステップを備える、

請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記調整するステップは、前記ライセンス帯域内の前記信号アクティビティとの干渉を避けるように、前記保護帯域で伝送されている信号の外側のサブキャリア周波数を減衰させるステップを備える、

請求項 2 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記動作は、

前記無線データ伝送のために、前記保護帯域を少なくとも 1 つのホワイトスペースとともに利用するステップ、又は

前記無線データ伝送のために、前記保護帯域を少なくとも 1 つのライセンスされたチャネルとともに利用するステップ

のうちの少なくとも一方を更に備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記判断するステップは、前記無線データ伝送が前記保護帯域で起こっている間に、前記ライセンス帯域内の信号アクティビティを周期的にモニタすべきかどうかを判断するステップを備える、

請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

保護帯域についての識別子と、前記保護帯域に隣接するライセンス帯域内にサービス展開が存在することを指定する指示とを受信するステップと、

前記ライセンス帯域内で信号アクティビティが検出された場合に、無線データ伝送のための前記保護帯域の利用が調整されるよう、前記ライセンス帯域内の信号アクティビティをモニタしている間に、前記の受信に応答して、前記保護帯域を無線データ伝送のために利用するステップと、

を備える、コンピュータ実施方法。

【請求項 8】

保護帯域についての識別子と、前記保護帯域に隣接するあるライセンス帯域内にサービス展開が存在するかどうかに関する指示とを受け取るステップと、

無線データ伝送のために保護帯域を利用するステップと、

前記ライセンス帯域内にサービス展開が存在することを前記指示が指定することに基づいて、前記保護帯域に隣接する前記ライセンス帯域内の信号アクティビティをモニタすべきかどうかを判断するステップと、

を備える、コンピュータ実施方法。

【請求項 9】

コンピューティングデバイスによる実行に응答して、該コンピューティングデバイスに、ホワイトスペース上で無線通信のための動作を実行させるコンピュータプログラムであって、前記動作は：

無線スペクトルの領域内の利用可能なホワイトスペースを確認するステップと、

前記領域内の保護帯域に隣接するライセンス帯域内にサービス展開が存在するかどうかを判断するステップと、

前記利用可能なホワイトスペースについての識別子について、及び前記ライセンス帯域内にサービス展開が存在するかどうかについての通知をクライアントデバイスに通信して、前記クライアントデバイスが前記保護帯域と、前記ホワイトスペースのうちの 1 つ以上を無線データ伝送に使用することを可能にするステップと、

を備える、コンピュータプログラム。

【請求項 10】

前記動作が、

前記領域内におけるホワイトスペースの利用可能性に対する変化の指示を受け取るステップと、

前記ホワイトスペースの利用可能性に対する変化の通知を前記クライアントデバイスに

提供するステップと、

を更に備える、請求項 9 に記載の コンピュータプログラム。

【請求項 11】

前記動作は、

特定のアプリケーションについてのデータを伝送するための伝送チャネルの要求を受け取るステップと、

前記特定のアプリケーションについての伝送パラメータに基づいて、1つ以上の伝送チャネルを選択するステップであって、前記1つ以上の伝送チャネルは、前記利用可能なホワイトスペースと前記保護帯域から選択される、ステップと、

前記1つ以上の伝送チャネルを識別する通知を提供するステップと、

を更に備える、請求項 9 に記載の コンピュータプログラム。